

## 5.5 ICF 及び ICF-CY 活用事例文献データベースの作成について

教育支援部 総括研究員 松村 勘由  
平成 21 年度特別支援教育研究研修員 加福千佳子  
(青森県立弘前第一養護学校 教諭)  
教育支援部 主任研究員 徳永 亜希雄  
平成 21 年度特別支援教育研究研修員 小林 幸子  
(静岡県立中央特別支援学校 教諭)

### 1. 背景

本研究では、各学校における ICF 及び ICF-CY（以下、ICF/ICF-CY）の考え方の理解を踏まえ、学校の教育活動の中で、ICF/ICF-CY を実際に活用するための具体的な手立てについての考え方を整理するとともに、各学校における活用の事例を収集し、具体的な活用の方法を整理・検討してきました。

また、各特別支援学校への悉皆調査を実施し、ICF/ICF-CY の認知度、活用状況、活用の成果と課題などの実際の状況を概観してきました。

これらの研究活動を通して、各学校から求められる事柄として、「ICF/ICF-CY を実際に活用している事例について紹介して欲しい」との要望が少なくありませんでした。

ICF/ICF-CY の基本的な考え方や学校における ICF/ICF-CY の活用の考え方や方法についての知識を得たが、実際の活用はどのように行うのか、ICF/ICF-CY を活用する教育活動の場面での具体的な事例ばかりでなく ICF/ICF-CY を活用するまでのプロセス、ICF/ICF-CY の活用に関わる組織・運営やリーダーシップなどについての情報を求める声がありました。

そこで、本研究を進める中で行った ICF/ICF-CY の活用に関わる実践研究や実践報告の文献のレビューを通して得られた情報を整理し、広く教育現場の方々に提供できないかと考えました。

ICF/ICF-CY 活用事例文献データベースの作成の背景には、教育現場の要望やニーズに応えたいという思いと、研究活動の経過で得られた情報を広く各教育現場に提供したいという思いを重ねたものがあります。

### 2. 目的

ICF/ICF-CY 活用事例文献データベースの目的は、各学校での ICF/ICF-CY の活用の取り組みに資する活用実践事例に関する情報を提供することです。

各学校で必要とする情報には、(1)ICF/ICF-CY の活用の実際の取り組みを概観するための情報、(2)ICF/ICF-CY を具体的な場面で活用するための情報、(3)ICF/ICF-CY の活用を進めるための組織・運営に関する情報などがあります。

ICF/ICF-CY 活用事例文献データベースは、ICF/ICF-CY の教育的活用に関する情報の中で、具

体的な活用を検討する際に必要となる実践的な情報を、よりの確に得るための手がかりになる道具として活用されるものと考えました。

### 3. データベースの基本設計と手続き

#### (1) データベースが対象とする情報

このデータベースが対象とする情報は、現在、公表されている報告書、研究紀要、刊行物等に掲載されている ICF/ICF-CY に関する実践研究や実践報告としました。

ICF/ICF-CY活用事例文献データベースの対象



図1 ICF/ICF-CY 活用事例データベースの対象

#### (2) 実践研究や実践報告に含まれる基本情報の抽出

各実践研究や実践報告に含まれる基本情報について予め設定した観点（ICF/ICF-CY の活用の関わる情報の要素）で抽出しました。

#### (3) ICF/ICF-CY の活用に関する情報の検索

抽出した観点をキーのコードとして、必要な情報を含む該当の文献を検索できるように考えました。

ICF/ICF-CY の活用に関するデータベースの各情報は、NetCommons（国立情報学研究所）の汎用データベースのモジュールを活用した検索のシステムを活用し、検索活用の利便に供することを考えました。



↓ 分析：要素の抽出

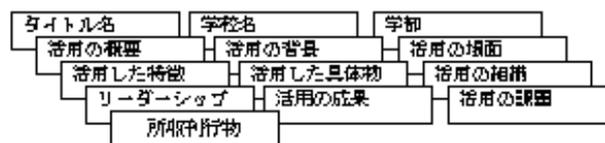


図2 実践研究や実践報告に含まれる基本情報の抽出

### 4. 実践研究や実践報告に含まれる基本情報の分析

#### (1) 経緯

ICF/ICF-CY 活用事例文献データベースの作成の経緯は、これまでに公表されている文献に掲載されている実践研究や実践報告のレビューから始まっています。

実践研究や実践報告に記述されている実践事例を整理する中で、各実践の活用の要素が必ずしも単一の視点で整理できないことに注目し、相互に関連し合う複数の視点から捉えることが必要であるとの認識を得ました。

## (2) 実践事例の要素の分析

実践事例の要素の設置にあたっては、実践研究や実践報告に記述されているいくつかの実践事例での ICF/ICF-CY の活用の状況を、各文献への記述内容と該当の学校への訪問の調査の結果を相互に参照し、活用の状況が的確に把握できるように工夫しました。

また、「特別支援学校における ICF 及び ICF-CY についての認知度・活用状況等に関する調査」の調査項目などを参照し、その上で、活用の状況を整理するための要素を次のように整理することを試みました。

### ①学校についての情報

- 1) 学校の基本情報
- 2) 活用の背景や契機となった事項

### ②活用の内容や方法に関する情報

- 1) 活用の場面に関する情報
- 2) 活用の目的に関する情報
- 3) 活用の観点に関する情報

### ③活用の手続きや組織に関する情報

- 1) 活用の組織
- 2) 活用のキーパーソン
- 3) 活用の参加者

### ④活用の際に使ったツールや作成物に関する情報

- 1) 活用の具体場面で使用したツール
- 2) 活用の具体場面で作成したもの

### ⑤所収する文献に関する情報

- 1) 文献の執筆者
- 2) 所収する文献の名称

## 5. データベースの構造の設計

いくつかの文献を例に、活用の状況の各要素について内容の整理をしました。

その上で、それぞれの情報をデータベース上にどのように位置付けるかを検討し、次のようなデータベースの構造を考えました。

各要素を NetCommons の汎用データベースのモジュールの仕様に併せ、各要素を①項目名、②属性の2つの観点でその内容を整理しました。



図3 NetCommons の汎用データベースの設定画面

このデータベースでは、各要素を次の観点で整理し、設計しました。

①項目名

- ・タイトルにする。
- ・一覧画面に表示する項目
- ・詳細画面に表示する項目
- ・項目名を表示する
- ・検索の対象に含める

②属性

- ・選択
- ・テキスト

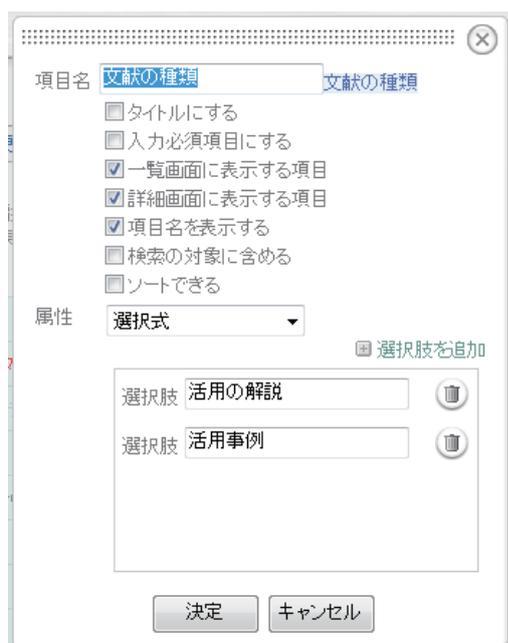


図4 NetCommons の汎用データベースの設定例

1) 文献の種類 (活用の解説情報, 活用の実践事例などの別) ◎ [文献の種類]

項目名「文献の種類」は、選択式として、選択項目を「活用の解説」「活用の事例」としました。

以下、各項目は全て一覧に表示することとしました。

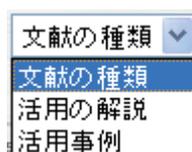


図5 文献の種類のパルダウンメニュー

2) 実践研究, 実践報告のタイトル

この項目はタイトルの項目として、入力必須項目としました。

3) 実践研究, 実践報告の執筆者

この項目は執筆者の氏名をテキストで入力することとしました。

4) 実践研究, 実践報告をした学校が所在する都道府県

この項目は、都道府県名を選択肢とする選択式としました。

5) 実践研究, 実践報告をした学校の名称

この項目は、実践研究, 実践報告をした学校の名称をテキストで入力することとしました。

- 6) 実践研究, 実践報告をした学校の障害種  
この項目は, 学校が対象とする障害種の選択式としました。
- 7) 実践研究, 実践報告で ICF 又は ICF-CY の活用をした学部  
この項目は, 活用をした学部の選択式としました。
- 8) 実践研究, 実践報告で ICF 又は ICF-CY の活用の対象となった児童生徒の障害種  
この項目は, 活用の対象となった児童生徒の障害種の選択式としました。
- 9) 実践研究, 実践報告での ICF 又は ICF-CY の活用の場面  
この項目は, 活用の場面の選択式としました。
- 10) 実践研究, 実践報告での ICF 又は ICF-CY の活用の観点  
この項目は, 活用の観点の選択式としました。
- 11) 実践研究, 実践報告で活用した ICF 又は ICF-CY の特徴及びツール  
この項目は, 活用した ICF 又は ICF-CY の特徴及びツールをテキストで入力することとしました。
- 12) 実践研究, 実践報告で ICF 又は ICF-CY の活用を進めた組織  
この項目は, 活用を進めた組織の選択式としました。
- 13) 実践研究, 実践報告での ICF 又は ICF-CY の活用の概要  
この項目は, 活用の概要をテキストで入力することとしました。
- 14) 実践研究, 実践報告での ICF 又は ICF-CY の活用の背景  
この項目は, 活用の背景をテキストで入力することとしました。
- 15) 実践研究, 実践報告を所収する文献  
この項目は, 所収する文献をテキストで入力することとしました。
- 16) 文献の情報 (文献に関連する Web サイト等)  
この項目は, 文献に関連する Web サイト等をテキストで入力することとしました。

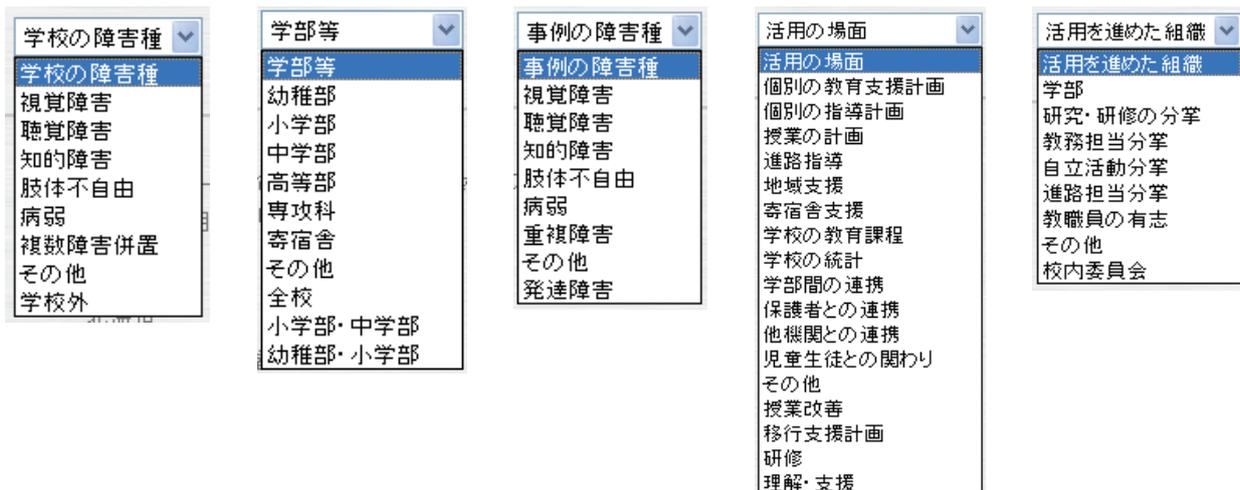


図6 各項目のプルダウンメニュー

ICF/ICF-CY活用事例文献データベース	
1 2 次 ▶ 文献の種類 ▼ 都道府県 ▼ 学校の障害種 ▼ 学部等 ▼ 事例の障害種 ▼ 活用の場面 ▼ 活用の観点 ▼ 活用を進めた組織 ▼ 並べ替え ▼	
検索	
10件 ▼	
文献の種類	活用事例
実践研究、実践報告のタイトル	小学校全体での児童の理解を進めるため ーICFを活用した研修の取組ー
実践研究、実践報告等の執筆者	宮岸 尚平
都道府県	北海道
実践研究、実践報告の学校、執筆者の所属等	北海道函館養護学校
事例の障害種	その他
活用の場面	地域支援
活用の観点	関連図
活用したICFの特徴及びツール等	関連図、支援を支えるためのシート
活用を進めた組織	その他
活用の概要	特別支援学校のセンター的機能の一環として、特別支援教育コーディネーターが小学校での研修講師を務め、ICFの構成要素間の相互作用図を概念的枠組みとして用いながら、児童の実態ではなく、児童に対する職員の願いを引き出していく取組
活用の背景	学校全体で特別な支援が必要な子どもへの理解が進んでいないという声、特別支援学級の担任が一人で多くのことを抱えていかなくてはならないというような現実を受け、学校全体で子どもに必要な支援について考えていくために、多面的・総合的な理解を進める手段としてのICF相互作用モデルを活用した演習を企画した。
実践研究、実践報告を所収する文献等	ICF及びICF-CYの活用 試みから実践へー特別支援教育を中心にー  編著：独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 出版：シアス教育新社 発行：2007
文献情報	<a href="http://www.kyoikushinsha.co.jp/book/0078/index.html">http://www.kyoikushinsha.co.jp/book/0078/index.html</a>

詳細を表示

図7 ICF/ICF-CY 活用事例文献データベース表示画面例（NetCommons の汎用データベース）

## 6. NetCommons の汎用データベースシステムを活用した本データベースの特徴

ICF/ICF-CY の活用に関するデータベースの各情報は、NetCommons の汎用データベースのモジュールを活用したデータベースシステムを作成し、その活用の利便に供することとしました。

NetCommons の汎用データベースシステムを活用した本データベースの利点と課題点を次のように整理しました。

### (1) 利点

- ①あらかじめパソコンにアプリケーションをインストールする必要がなく、インターネットの接続環境があれば活用できる。
- ②キーとなる項目をプルダウンメニューにて選択し、各選択項目をクロスさせた情報が容易に一覧できる。
- ③無償で公開されているシステムで、提供者及び利用者ともに、利用にあたってのコストの負担が少ない。
- ④システムがシンプルで、構築が容易である。
- ⑤アクセスの権限が階層的に設定できるため、情報の更新や維持・管理などのメンテナンスなどの管理をネットワーク上で、多様なメンバーによる参加型で行うことができる。

### (2) 課題点

- ①インターネット環境がない場所では、利用ができない。

- ②データ量が増大すると、検索速度が低下する恐れがある。
- ③他のデータベースとの関連付けができない。

## 7. ICF/ICF-CY 活用事例文献データベースのメンテナンス

このデータベースの情報の更新や維持・管理については、今後の課題ですが、本研究所をキーとして、インターネットを通じた参加型の管理もその選択肢の一つと考えられます。

※「NetCommons」の名称は、国立情報学研究所が属する情報・システム研究機構が商標として登録をしています。